

第3回島田市平和都市宣言制定委員会報告書

日時 平成26年3月25日（火）午後7時～
場所 島田市役所会議棟D会議室

1. 開会

委員会の進行方法について事務局から説明

- ・第2回制定委員会での意見等を踏まえ、4つの素案を1つにしぼって修正素案を作成した。
- ・修正素案を各委員及び市議会議員に送付し意見を寄せていただいた。
- ・寄せていただいた意見を参考に修正素案を作成し本日配付した。
- ・今回の制定委員会では、この修正素案をパブリック・コメントの案とするよう意見交換を行っていただく。

2. 議題等

宣言文修正素案に対する意見について

- ・再修正素案の主旨について事務局より説明（2ページ以降のとおり）
- ・再修正素案に対する意見交換（4ページ以降のとおり）

3. その他

次回委員会の日程について

- ・4月7日から5月7日までパブリック・コメントを募集し、平行して市議会議員からの追加意見を寄せてもらう。
- ・それらの意見をもとに6月議会に提出する議案として最終調整してもらうことになるので、議案作成のスケジュールを考慮して、次回の制定委員会開催予定を5月15日（木）午後7時からとする。会場は第3委員会室（南）を予約

再修正素案の考え方等について（事務局説明）

段落	再修正素案	修正の主旨
1	<p><u>「こんにちは。」</u> <u>「こんにちは。いいお天気ですね。」</u></p> <p>「いってきます。」 <u>「いってらっしゃい。気をつけてね。」</u></p> <p>何げないあいさつを交わしあえるよ ろこび</p> <p>それは、平和という<u>宝もの</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・寄せられた意見を参考に、あいさつの例示は一般的な言葉で2行ずつにまとめるのが良いのではないかと考えた。 ・「何げない」を削除との意見が寄せられたが、平穏な日常での場面を表現するために必要であると考えた。 ・「笑顔で」という言葉を削りシンプルにした。 ・「だから」を漢字表記としたが「もの」については物質ではないことを踏まえひらがな表記のままにした。
2	<p>でも、それは争いや多くの悲しみを乗り越えて 築かれてきたもの</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「犠牲や悲しみを乗り越え」とする意見が寄せられたが、「犠牲を乗り越える」という表現には違和感があると考えた。
3	<p>今を生きる私たちに託されたことは、 すべての人にそんな平和が訪れるよ う</p> <p>お互いを認め合い、分かち合える社会 を実現し 次の世代へ繋げていくこと</p> <p>私たちは叫びます。</p> <p>「人を傷つける<u>武器</u>はいらない。持つ ことも認めない。」</p> <p>「歴史が培った大切な財産を消し去る ことは許さない。」</p> <p><u>私たちは呼びかけます。</u></p> <p>「<u>明日</u>を今日よりいい日にしよう。」 「みんなに感謝しよう。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「訪れるよう」という表現は今が平和ではないようであるとの意見が寄せられたが、「世界中のすべての人」を対象として考えているので変更しなかった。 ・文章を短く簡単にという意見があり、また、「違い」も「同じ」もすべてを認め合う心が必要との意見に共感し、「違い」と「敬い」を削除した。 ・「叫びます。」が強すぎるとの意見が寄せられたが具体的な決意を示す適切な言葉が見つからなかった。 ・「多くの人を傷つける道具はいらない。持つことは許さない。」を寄せられた意見をもとに修正した。 ・「歴史が培った大切な財産を消し去ることは許さない。」の見直しを求める意見も寄せられたが、多少難解でも適切な表現で伝えたいと考えた。 ・「呼びかけます。」のほうが適当と思われる箇所と区分した。 ・「明日」を強調するためという意見に共感し変更した。

	<p>「あなたがいてくれてありがとう。」 そして、自然にも「ありがとう。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「みんなに感謝しよう。」以下を削除との意見が寄せられたが人間以外のものにも感謝する気持ちを表現するために残した。
4	<p><u>私たちは宣言します。</u> <u>大井川の清流に育まれた緑豊かな島田市が</u> <u>平和を願う世界中の人たちとともに</u> <u>笑顔の絶えない明るい未来を目指して</u> <u>歩み続ける平和都市であることを。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前2段のスタイルに合わせ、「主語＋動詞」に内容が続くスタイルとした。これにより、外国語に訳したときの文章構成が近くなると思われる。 ・「笑顔」というキーワードはアンケートなどからも重要であると考え、こちらに加えた。

制定委員会での意見交換の内容

段落	本文
1	<p>「こんにちは。」 <u>「こんにちは。いいお天気ですね。」</u></p> <p>「ってきます。」 <u>「いってらっしゃい。気をつけてね。」</u></p> <p>何げないあいさつを交わしあえるよこび それは、平和という<u>宝もの</u></p>
2	<p>でも、それは争いや多くの悲しみを乗り越えて 築かれてきたもの</p>
3	<p>今を生きる私たちに託されたことは、 すべての人にそんな平和が訪れるよう お互いを認め合い、分かち合える社会を実現し 次の世代へ繋げていくこと</p> <p>私たちは叫びます。 「人を傷つける武器はいらない。持つことも認めない。」 「歴史が培った大切な財産を消し去ることは許さない。」</p> <p>私たちは呼びかけます。 <u>「明日を今日よりいい日にしよう。」</u> <u>「みんなに感謝しよう。」</u></p>

段落	意見
1	<ul style="list-style-type: none"> ・「こんにちは。」より「おはようございます。」のほうがよく使っている。 ・「おはようございます。」のほうが一日の始まりという感じでよい。 ・次のあいさつが「ってきます。」ということで、朝の風景を連想させるので「おはようございます。」のほうがよい。 ・「いいお天気ですね。」は一般的なさりげない会話として使っているか？ ・昔の人は「いい塩梅ですね。」と言っていた。島田ならではの表現としてはよいのではないか。(⇒若い世代にはピンとこない様子であった。) ・「おはよう。」には「おはよう。」で返すのが普通。その後にも何もない単純な言葉のやりとりのほうが深みがある。 ・「気をつけてね。」は押しつけているようで削ったほうがよい。(⇒事務局から市民アンケートの結果「交通安全」や「家族が家族を想う心」ということが大切であると考えている旨を説明) ・「気をつけてね。」にそれほど押しつけがましい感じはない。 ・「何げない」はいらないのではないか。 ・「何げない」は上段のようなあいさつを交わす平穏な日常を表すために重みのなる大切な言葉だと思う。 ・言葉だけでないコミュニケーションの大切さを含ませるため、前回の委員会で「笑顔で」を入れたらどうかという意見が出ていたので残したほうがよい。 ・意識的でない「何げない」あいさつに「笑顔」を加えてしまうと安っぽくなるように感じる。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・「多くの悲しみ」という中には広い意味が含まれていると思う。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・「道具」という表現には、物理的な武器という以外に言葉や態度なども含んだ意味を感じていた。 ・「道具」という表現は、それなりの意味を持っていた。 ・「武器」とすると対象が狭くなる「人を傷つけるようなもの」としたらどうか。 ・「もの」とすると、その後の「持つ」という表現に合わなくなる。 ※この部分については、戦争というものに対する姿勢を明確に表現したいと考えて作っている旨を事務局から説明 ・「人を不幸にする武器はいらない。」としたらどうか。 ・「持つことも認めない。」は無いほうがスッキリする。その前の「いない。」という中に含まれる。 ・「消し去ることは許さない。」は他を禁止している表現なので、自らの意思としては「しない。」とするほうがよい。

	<p>「あなたがいてくれてありがとう。」 そして、自然にも「ありがとう。」</p>
4	<p><u>私たちは宣言します。</u> <u>大井川の清流に育まれた緑豊かな島田市が</u> <u>平和を願う世界中の人たちとともに</u> <u>笑顔の絶えない明るい未来を目指して</u> <u>歩み続ける平和都市であることを。</u></p>

	<p>※「消し去る」にかわる良い表現がないか事務局から意見を求めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「大切な財産を守る。」とすれば、上の行の「許さない」という否定に対比して「守る」という積極的な姿勢の表現となるのではないか。 ・「明日より今日を」というと、今日が悪い日のようなので「今日もいい日に」としたらどうか。 ・今日が平和でない人もいるので「今日より」は欲しい。 ・一般的には「今日より明日」になるのではないか。 ・「明日」を強調するなら「今日よりいい明日にしよう。」としたらどうか。 ・「みんなに感謝しよう。」に続く「あなたがいてくれてありがとう。」はくどい感じがする。こうした言葉は、気持ちとして持っているもので、口に出してしまうと軽くなってしまふ。 ・「ありがとう」の言葉も重ねて使い過ぎると軽くなってしまふ。 ・「あなたがいてくれてありがとう。」は、例えば災害で家族を失った人の気持ちを考えると「ただそこにいてくれる」ことへの感謝を実感するので、是非残してもらいたい。 <p>※「自然にも『ありがとう』という表現について、人間以外のすべてのものにも感謝が大切であるという思いを表現するための例として「自然」としたが、自然災害に見舞われた人など「自然」に対して「ありがとう」とは言えないこともあるのではないかと考えられるので、その点について意見を求めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「存在するすべてのもの」としたらどうか。 ・「ありがとう」の重複を解消するためにも、「あなたがいてくれてありがとう。」の後に「すべてのものに感謝しよう。」を持ってきたらいいのではないか。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・最後の句点「。」は必要か。 ・他の場所の「。」をやめて、ここだけ「。」にしたらどうか。 ・「平和都市であることを」の後に「ー」や「！」をつけたらどうか。 <p>※市議会の議決を経て条例とともに例規集に載るものなので、公文例式を確認する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最後は何も付けなくてもよいのではないか。 ・「大井川の・・・」以下の行を一字下げたらどうか。